

# 2019恵方・初詣

## (東北東－滋賀の方位) 馬見岡綿向神社ほか

**馬見岡綿向神社** (猪が神の  
使い、厄除け・家内安全)



御本殿脇に建つ  
綿向の神さまの  
お使い「神猪像」

猪は綿向大神の神使いといわれ、御社殿や神輿、石灯籠などの装飾としても使われている。

また12年に一度の亥年にのみ、当社殿に伝わる猪の焼き印を押した絵馬が頒布され、作家 司馬遼太郎氏の『街道をゆく』にも紹介されて有名である。平成19年の亥年には、氏子篤志家の奉納により、御本殿の横に大猪の石像が作られて、神様を見守っている

**田村神社**  
(開運厄除)



田村神社は近江国(滋賀県)と伊勢国(三重県)の国境にあり、古来には都より伊勢へと参宮する交通の要衝でした。当社の言い伝えによると、「鈴鹿峠に悪鬼が出没して旅人を悩ましており、嵯峨天皇は坂上田村麻呂公に勅命を出してこれを平定させた」とあります。それ故に、交通の障害を取り除いて土地を安定させた坂上田村麻呂公の御遺徳を仰ぎ、弘仁3(812)年の正月、嵯峨天皇は勅命を出して坂上田村麻呂公をこの土山の地に祀られることになりました。

**日 時:** 平成31年2月5日(火)

**集合場所:** 茨木市役所南館前 **時間** 8時15分

**出発時間:** 8時30分

**費用:** 7,000円 (昼食・干支の土鈴付)

**申込締切:** 1月29日(火)

**申込先:** **研修懇親部** 西田房子 634-3746 山本健次 621-8522 羽原 繁 627-2406  
服部伸一 625-3939

**行 程:** 高速～馬見岡綿向神社(猪ゆかりの神社にて初詣)～田村神社(開運厄除  
・初詣)～一水庵(イス・テーブル席にて寿鍋御膳の昼食)～信楽陶芸村  
(特産物買い物)～高速経由～ 茨木 18時頃着予定